

第 8 回柴又地域学校改築懇談会のまとめ

●開催日時

令和 6 年 7 月 1 6 日（火曜日） 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0

●内容

- 1 会長挨拶
- 2 アンケート結果の共有・柴又地域一連の学校改築の検討
- 3 投票

第 8 回改築懇談会では、3 つの改築案（柴又小単独改築・柴又小敷地に統合小学校・東柴又小敷地に統合小学校）をもとに、委員各々が考える各小学校敷地に新校舎を建設した場合のメリット・デメリットについて意見を出し合い検討しました。

	メリット	デメリット
柴又小学校敷地に 新校舎を建設した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・柴又地域のほぼ中心にある ・昔ながらの伝統が引き継がれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・東柴又小学校に比べ敷地が狭い ・周辺道路の車通りが多い
東柴又小学校敷地に 新校舎を建設した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所である柴又野球場・江戸川緑地一帯に近い ・校庭が広く、遊具などもたくさん置くことができる ・柴又小学校が仮校舎になるため、桜道中学校の改築で活用する際に移転がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・柴又地域の東端にあり、登校に時間がかかる児童が増える ・北総線の騒音が気になる
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県浦川原小学校との交流継続についても話し合いを進めたい ・児童の交通事故は発生していないが、小学校統合の際に柴又街道を横断する児童が現状より増えることは明らかであり、各所の横断位置における安全確保には配慮が必要である 	

改築懇談会の意見

この他にも様々な観点から多くの意見が出され、学校改築に関する検討を深めた結果、

（C案）東柴又小学校敷地に統合小学校を建設する案

が意見多数となりました。

(案)

柴又地域学校改築懇談会における
学校改築の検討について

1 柴又地域学校改築懇談会について

柴又地域の児童・生徒にとって、より良い学校教育環境となるよう学校改築を進めるため、柴又地域の代表者による柴又地域学校改築懇談会（以下、「改築懇談会」という）を令和5年11月に発足しました。

区が考える柴又地域一連の学校改築（※）に関する説明を受け、柴又小学校・東柴又小学校・桜道中学校の3校における基本的な改築の方向性について検討を重ねてきました。

（※）柴又小学校と東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に両校の児童が通える規模の新校舎を整備します。新校舎工事期間中は、もう一方の学校を統合小学校の仮校舎として利用します。

さらに、桜道中学校を改築する際には、統合小学校仮校舎を桜道中学校の仮校舎として活用し、その間に新校舎を整備するものです。

2 検討の経過及びまとめ

（1）検討の経過

柴又地域の新たな学校づくりの3つの柱である、

- ① 工事中の教育環境への影響低減
- ② 未来を見据えた教育環境の整備
- ③ 地域の拠点となる学校づくり

をもとに、「工事中及び新校舎の教育環境」、「単独改築、一連の学校改築における施設規模」などを検討テーマとして意見交換を行いました。

さらに、学校改築の考え方を

A案 柴又小学校単独改築

B案 柴又小学校敷地に統合小学校を建設後、一連の改築として桜道中学校を改築

C案 東柴又小学校敷地に統合小学校を建設後、一連の改築として桜道中学校を改築

の3案にまとめ、それぞれの案を比較するための資料などを用いて検討を行いました。

（2）検討のまとめ

委員からの提案により、一通りの検討が終わったところで、各委員の意見を投票で確認した上で取りまとめを行うこととしました。

第8回改築懇談会にて、全30名の委員の内25名で投票を行い、次のような結果になりました。

A案	2票
B案	3票
C案	16票
その他	4票（白紙3票・棄権1票）

この結果を踏まえ、改築懇談会としての意見をどうするか検討し、C案を意見のまとめとすることに決まりました。

以上から「C案 東柴又小学校敷地に統合小学校を建設後、一連の改築として桜道中学校を改築」する案を改築懇談会の意見として取りまとめ、報告します。

3 各案に対する委員の意見及び要望

改築懇談会の意見はC案にまとまりましたが、取りまとめまでに様々な意見や要望があがりました。

区においては、これらの意見・要望を考慮して検討することを希望します。

(1) 各案に対する委員の意見

改築懇談会では様々な観点から意見があがり、検討を深めることができました。各案に対する主な意見は次のとおりです。

① A案

ア 避難所は3か所必要である。3校とも残してほしい。

イ 柴又小学校と東柴又小学校はそれぞれ両校の年輪と校風があり、母校愛がある。

ウ 少ない児童数を利点として少人数制のICT指導に力を入れ、学校づくりの特色にするとよい。

エ 工事中は校庭が使えず、校外施設で外体育授業となると、授業時間の一部を移動に充てることになる。

② B案

ア 柴又小学校は柴又地域のほぼ中心にある。

イ 新校舎建築中はより広い東柴又小学校の校庭が使えるので、児童のストレスは少ない。

ウ 統合小学校新校舎と桜道中学校が近くなる。

エ 東柴又小学校に比べて敷地が狭い。また、3階建て校舎までしか建てられない。

オ 児童の学習環境や運動スペースの確保に工夫が必要である。

③ C案

ア 敷地が広く、4階建て校舎が建設可能な東柴又小学校敷地が、新校舎建設地として望ましい。

イ 校庭が広く、遊具などをたくさん置くことができる。

ウ 学童保育クラブに行きやすい。

エ 震災時に土手に避難しやすい。

オ 仮校舎が柴又小学校なら、桜道中学校の移転距離が短くてよい。

カ 柴又地域の東端にあり、登校に時間がかかる児童が増える。

キ 北総線の騒音が心配である。

ク 駅に近いこともあり、治安の面が心配である。

(2) 一連の学校改築に関する区への要望

検討の過程であがった懸念事項や今後検討が必要となる事項については次のとおりです。

- ① 小学校を統合すると柴又街道を横断する児童が増える。交通誘導員を増やすなど、安全対策をしっかりとってほしい。
- ② 小学校統合後は避難所が1か所減る。跡地活用は避難所としても機能する施設にしてほしい。
- ③ 東柴又小学校プールの地域開放は、改築後も引き続き実施してほしい。
- ④ 新潟県浦川原小学校との交流についても継続できるように話し合いを進めたい。
- ⑤ 美術品の展示場所などがないという話を聞くことがある。跡地活用として、そのような検討もしてほしい。

以上を学校改築の検討内容として報告します。

参考として、当改築懇談会の活動に関する資料を添付します。

令和6年8月

柴又地域学校改築懇談会

会長 天宮 久嘉

参考資料

改築懇談会開催状況

柴又地域学校改築懇談会ニュース（第1号～第8号）

改築懇談会資料（一部抜粋）

改築懇談会開催状況

回数	開催日程	主な議題
第1回	令和5年11月29日	(1) 改築懇談会運営要綱について (2) 会長・副会長の互選 (3) 今後の改築懇談会スケジュールについて
第2回	令和6年1月26日	(1) 柴又地域における学校改築の区 の考え方について (2) アンケートの実施について
第3回	令和6年2月28日	(1) アンケートの結果報告について (2) 教育環境について ①工事に付随する課題 ②新校舎での教育環境 ③柴又街道横断時の安全確保
第4回	令和6年3月28日	(1) 望ましい学級数について ①柴又地域における人口の現状と児童 数の推移 ②小学校を統合した場合の想定規模
第5回	令和6年4月25日	(1) 施設規模、地域の拠点となる学校 づくりについて ①柴又・東柴又小学校統合校舎の想定 規模 ②防災機能 ③歴史・文化の継承 (2) アンケートの実施について
第6回	令和6年5月30日	(1) アンケート結果の共有 (2) これまでの検討内容の振り返り
第7回	令和6年6月18日	(1) 前回以降の質問及び回答の共有 (2) 改築の方向性についての意見交換 (3) アンケートの実施について

第8回	令和6年7月16日	(1) アンケート結果の共有 (2) 改築の方向性についての意見交換 (3) 改築の方向性について投票実施
第9回	令和6年8月22日	(1) 報告資料の作成について

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、
柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和5年12月発行 第1号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

柴又地域学校改築懇談会が発足しました！

区の小・中学校の多くは昭和30年代から40年代に整備され、今後更新の時期を迎えます。学校改築には多くの費用が必要となるため、区では施設や地域の状況を踏まえ計画的に改築を進めております。

柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校の改築の方向性について検討するため、柴又地域学校改築懇談会が発足しました。

今回の懇談会では、柴又地域における学校改築の方向性について区の考えを説明し、第3回以降で具体的な検討を行っていく予定です。

検討の様子は今後、本ニュースにてお知らせいたします。

柴又地域における学校改築については、区の公式ホームページをご覧ください。

右のQRコードからもご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) >

[柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



柴又地域学校改築懇談会について

学校施設は子どもたちの学習や生活の場であるとともに、地域の生涯学習やスポーツ活動、さらには災害時の避難所としての役割を担う地域コミュニティの拠点でもあります。

このため、学校に関わりのある地域の方や学校関係者を中心とした学校改築懇談会を立ち上げました。懇談会では、学校改築の基本方針などについて意見交換や検討を重ねてまいります。

【構成】

自治町会代表、学校評議員、民生委員・児童委員代表、青少年育成地区委員代表、PTA代表、
学校地域応援団地域コーディネーター、保育園・幼稚園長、学校長・副校長

第1回の議事内容

令和5年11月29日（水）第1回学校改築懇談会を開催し、懇談会の会長、副会長の互選を行ったほか、今後のスケジュールについて確認を行いました。

次回以降、改築手法などの検討を行い、令和6年度上半期には柴又地域の学校改築の方針をとりまとめる予定です。

会 長：柴又小学校学校評議員

天宮 久嘉 委員

副会長：東柴又小学校学校評議員

大越 恒男 委員



【第1回懇談会の様子】

時 期	テーマ
令和6年1月	【懇談会】柴又地域における学校改築の区の間考え方について
令和6年2月～5月	【懇談会】柴又地域の学校改築について検討・意見交換
令和6年度上半期	【区】懇談会の意見を踏まえ、柴又地域の学校改築の方針を決定
令和6年7月～	【懇談会】新校舎の配置・レイアウト等検討
令和7年度上半期	【区】懇談会の意見を踏まえ、基本構想・基本計画の策定

次回の学校改築懇談会

- ・日時：令和6年1月26日（金）午後7時～
- ・場所：東柴又小学校 体育館
- ・内容：柴又地域における学校改築の区の間考え方

この懇談会は傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、
こちらのQRコードから
お申込みください。



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年2月発行 第2号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

令和6年1月26日（金）に第2回学校改築懇談会を開催し、柴又地域における学校改築の区の方（案）を共有するとともに、今後の懇談会の進め方について確認を行いました。

柴又地域における学校改築の区の方（案）について

区の小・中学校の多くは昭和30年代から40年代に整備され、今後更新の時期を迎えることから、施設や地域の状況を踏まえ計画的に改築を進めており、そのうちの一枚に柴又小学校を選定いたしました。

柴又小学校の改築を検討する中で、改築工事中の児童・生徒の負担軽減や周辺の東柴又小学校や桜道中学校でも校舎の老朽化も進んでいることから、柴又小学校及び東柴又小学校を統合した新しい学校を整備するとともに、桜道中学校も改築することで、柴又地域の教育環境の向上を図ってまいります。

今後の懇談会の進め方について

この区の方（案）を受け、学校改築懇談会では、柴又地域の児童・生徒にとって望ましい学校改築にするため、様々な角度から議論をしていくことといたしました。

次回以降の懇談会では、工事期間中の騒音や振動などの「教育環境」や、「柴又地域の今後の児童・学級数」、「施設規模・地域の拠点となる学校づくり」のほか、懇談会委員から寄せられた意見について議論を重ね、懇談会の意見をまとめてまいります。

次回の学校改築懇談会（予定）

日時：令和6年2月28日（水）午後7時～ 場所：東柴又小学校 体育館

この懇談会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。



柴又地域における学校改築については、説明会で配布した資料も含め、以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。また、右のQRコードからもご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) > [柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年3月発行 第3号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

令和6年2月28日（水）に第3回学校改築懇談会を開催し、柴又小学校を単独で改築した場合と区が考える建て替えの手法（※）とした場合の教育環境について意見交換を行いました。

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校又は東柴又小学校のいずれかに、両校の児童が通える規模の新校舎を整備し、工事期間中はもう一方の学校を工事期間中の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、いずれか一方の小学校の校舎を仮校舎として活用し、その間に桜道中学校の改築を行う。

①工事中の教育環境について

柴又小学校を単独で改築した場合、敷地内に仮校舎を建てるため、騒音や振動の問題、校庭が利用できなくなることで、区が考える建て替えの手法の場合、3校それぞれを単独で改築するよりも工期が短縮でき、工事中の騒音や振動など教育環境の影響を低減できることを他校の建て替え事例を交えながら説明しました。

【意見】

- 柴又地域一連の学校改築の場合、仮校舎でも新しい学校でも柴又小学校と東柴又小学校の児童が入れるだけの教室数が確保できるのか心配

（区からの説明）

仮校舎では不足する教室分だけを作り、新しい学校については、将来の児童数を見越した教室数を確保してまいります。

- 柴又小学校、東柴又小学校が統合したら両校の児童約600人が同じ学校に通うことになり、工事期間中は校庭が狭くなると思うので運動スペースを確保してほしい。

（区からの説明）

既存の校舎を活用し、足りない分だけ仮校舎を作るので、校庭全てが使えなくなることはないと考えています。

②柴又街道横断時の安全確保について

通学路での児童の交通事故は発生していないものの、柴又小学校と東柴又小学校を統合した場合は柴又街道を横断する児童が増えるため、安全確保が課題であることを説明しました。

【意見】

- 2つの小学校が1つになったら柴又街道を横断する児童が増えるので、交通誘導員を増やすなど、安全対策をしっかりとってほしい。

（区からの説明）

警視庁に確認したところ過去5年間通学路での事故は発生していませんが、統合すると柴又街道を横断する児童が増えることから、現在配置している交通誘導員の増員を行うなど、柴又街道横断時の児童の安全確保を図ってまいります。

次回の学校改築懇談会（予定）

日時：令和6年3月28日（木）午後7時～ 場所：柴又学び交流館 3階レクリエーションホール

この懇談会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、
右のQRコードからお申込みください。



柴又地域における学校改築については、説明会で配布した資料も含め、以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。また、右のQRコードからもご覧いただけます。

[トップページ](#)>[子育て・教育](#)>[教育・学校](#)>[小学校・中学校](#)>[学校改築事業](#)>[柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、
柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年4月発行 第4号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

令和6年3月28日（木）に第4回を開催しました。区による柴又地域の人口や児童数の推移、学校適正規模についての説明の後、望ましい学級数をテーマに意見交換を行いました。

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校又は東柴又小学校のいずれかに、両校の児童が通える規模の新校舎を整備し、工事期間中はもう一方の学校を工事期間中の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、いずれか一方の小学校の校舎を仮校舎として活用し、その間に桜道中学校の改築を行うもの

柴又地域における人口・児童数の推移について

- ・平成23年と令和5年の人口推移を比較すると、就学前の年代の減少率が大きい一方で、50代や80代以上の年代は増加率が大きい。また、柴又地域の人口構成を区内全域と比較すると、就学前の年代と30・40代の減少率が大きい。
- ・1歳から6歳までの住民登録者数は減少しており、このままの人数で推移すると、東柴又小学校では35人で単学級になる学年が発生し、区が考える適正学級数である12学級を将来下回る可能性がある。
- ・未就学児及び入学後の児童は、若干の転出（減少）傾向である。

柴又小学校、東柴又小学校を統合した場合の想定規模について

- ・令和8年度に仮校舎で運営することを想定した場合、各学年3学級で合計18学級となる見込みである。
- ・柴又小学校又は東柴又小学校のいずれかの学校を仮校舎とする場合、現在の校舎だけでは教室数が不足するため仮校舎の増築が必要となるが、小規模な仮校舎のため校庭全てを仮校舎で利用することはない。
- ・東柴又小学校では、令和11年度の児童数が1年生で35人の単学級となり、2年生から5年生の各学年でも転出などが発生すると単学級になる可能性がある。
- ・柴又小学校と東柴又小学校を統合することで各学年が3学級の児童数になり、区が望ましいとする18学級を維持できる。

意見（要旨）

- ・小学校を統合した場合、現在より1学級当たりの児童数が増えて職員の目が行き届きやすいなどの少人数学習の良さが損なわれる。
 - ・小学校を統合すると、18学級になることで教職員の数が増えてイベントなどの負担が軽減できる。
 - ・1学年あたりの学級数が増えることにより、児童への配慮や運用の幅が増える。
 - ・改築すると人気が出るのではないかと。受入児童の人数は大丈夫なのか。
- （区）柴又・東柴又小学校の通学区域内児童に加え、通学区域外の児童が入る余裕も持っている。

懇談会資料は以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。
[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) >
柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について



次回の学校改築懇談会（予定）

令和6年4月25日（木） 午後7時 柴又学び交流館 3階レクリエーションホール

懇談会の傍聴を希望される方は、QRコードからお申込みください。



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、
柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年5月発行 第5号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

令和6年4月25日（木）に第5回を開催しました。施設規模や防災機能、学校の歴史・文化などの「地域の拠点となる学校づくり」をテーマに意見交換を行いました。

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校と東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に両校の児童が通える規模の新校舎を整備。新校舎工事期間中は、もう一方の学校を統合小学校の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、統合小学校仮校舎を活用し、その間に桜道中学校の新校舎を整備するもの

柴又小学校単独改築、柴又地域一連の学校改築における施設規模について

		柴又小学校単独改築 (柴又小学校敷地建築)	柴又地域一連の学校改築	
			柴又小学校敷地に新校舎	東柴又小学校敷地に新校舎
仮校舎の 施設規模	建築面積 (延床面積)	約1,210㎡ (約3,420㎡)	(東柴又小学校敷地に増築) 約850㎡ (約1,700㎡)	(柴又小学校敷地に増築) 約550㎡ (約1,100㎡)
	校庭面積	0㎡	約2,800㎡	約1,600㎡
新校舎の 施設規模	建築面積 (延床面積)	3階建て 約2,600㎡ (約7,000㎡)	3階建て 約3,000㎡ (約8,000㎡)	4階建て 約2,350㎡ (約8,000㎡)
	校庭面積	約2,500㎡	約2,300㎡	約5,600㎡

※東柴又小学校敷地に新校舎を建てる場合、学校プールの地域開放の在り方については、今後検討する。

柴又地域一連の学校改築における防災機能について

- 避難所としては小学校1校分の減になるが、体育館を2階以上に設置して浸水時の避難者収容人数を現在より増やす見込みである。
- 新校舎では、太陽光パネルや蓄電池などの設備を導入するとともに、エレベーターの設置などバリアフリーに対応した施設とする。

各学校の歴史・文化の継承について

- 各学校の歴史や文化について紹介し、継承方法は改築方針に合わせて今後の懇談会で検討・議論する。

意見（要旨）

- 校庭が広くとれるなら、統合新校舎は東柴又小学校に建てたほうがいい。
- 統合後は避難所が1か所減るので、跡地を避難所として活用してほしい。
→（区）防災担当部署などとも協議し、跡地活用については今後検討していく。

懇談会資料は以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。
[トップページ](#)>[子育て・教育](#)>[教育・学校](#)>[小学校・中学校](#)>[学校改築事業](#)>
柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について



次回の学校改築懇談会（予定）

令和6年5月30日（木）午後7時 柴又学び交流館 3階レクリエーションホール

懇談会の傍聴を希望される方は、QRコードからお申込みください。



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、
柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年6月発行 第6号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校と東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に両校の児童が通える規模の新校舎を整備。新校舎工事期間中は、もう一方の学校を統合小学校の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、統合小学校仮校舎を活用し、その間に桜道中学校の新校舎を整備するもの。

令和6年5月30日（木）に第6回を開催しました。今までの区からの説明や検討内容を踏まえ、今回から本格的な柴又地域の学校改築に関する意見の取りまとめを始めました。

柴又地域の学校改築に関する意見のまとめ方

区の説明を以下のAからCの3案にまとめ、どの案を意見のまとめとするか話し合っていきます。

- ① 従来の改築方針
（A案）柴又小学校単独改築
- ② 柴又地域一連の学校改築（新校舎建設地を基準に2案に分ける）
（B案）柴又小学校敷地に統合校
（C案）東柴又小学校敷地に統合校

※AからCの3案の詳細については、第6回懇談会資料別紙2をご覧ください。
（下記に黄色で示しました区の公式ホームページでご覧いただけます。）

委員の主な意見

- ・敷地が広く4階建て校舎の建設が可能な東柴又小学校敷地が、新校舎建設地として望ましい。
- ・東柴又小学校のほうが土手に近く、震災時に避難しやすい。
- ・小学生にとって4階建て校舎は体力的に厳しいのではないかと。一方で、災害時には4階建てのほうがいいという気持ちもある。
- ・東柴又小学校には別棟で学童がある。改築後も何らかの形で残してほしい。
- ・小学校が統合すると周年も変わる。その考え方を整理してほしい。
- ・桜道中学校の生徒が小学校の仮校舎を使う際、中学生の体格に合わせた改修を含め、そのプランを示してほしい。

今後の進め方

柴又地域一連の学校改築に賛同する意見が多数聞かれましたが、引き続き議論を継続し、次回の改築懇談会で意見をまとめていきます。

懇談会資料は以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) >
柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※本ニュースでの「柴又地域の学校」は、柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年7月発行 第7号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

※区が考える建て替えの手法（柴又地域一連の学校改築）

柴又小学校と東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に両校の児童が通える規模の新校舎を整備。新校舎工事期間中は、もう一方の学校を統合小学校の仮校舎として利用する。さらに、桜道中学校を改築する際には、統合小学校仮校舎を活用し、その間に桜道中学校の新校舎を整備するもの。

令和6年6月18日（火）に第7回懇談会を開催しました。
柴又地域における学校改築の方向性の取りまとめに向け、意見交換を行いました。

柴又地域の学校改築に関する意見のまとめ方

以下のAからCのどの案を意見のまとめとするか話し合っています。

- ① 従来の改築方針
（A案）柴又小学校単独改築
- ② 柴又地域一連の学校改築（新校舎建設地を基準に2案に分ける）
（B案）柴又小学校敷地に統合校
（C案）東柴又小学校敷地に統合校

※AからCの3案の詳細については、第6回懇談会資料別紙2をご覧ください。
（下記に黄色で示しました区の公式ホームページでご覧いただけます。）

委員の主な意見

- ・仮設校舎を建てない方法を検討してほしい。
→（区）小学校統合後は18学級を見込んでおり、既存校舎だけでは教室などが不足します。仮設校舎建設は不足分のみとし、校庭は可能な限り広く使用できるように努めます。
- ・避難所は3か所必要だ。3校とも残してほしい。
- ・4階建て校舎が建設可能で、校庭が広くとれる東柴又小学校敷地に新校舎を建設することが望ましい。
- ・東柴又小学校学区内には学童保育クラブが3つある。働いている親にとって環境が良い。
- ・B案かC案かを判断するために、さらに比較しておくことはないか。
- ・各委員から、柴又小学校または東柴又小学校敷地に新校舎を建設した時のメリット・デメリットを聞いてはどうか。

今後の進め方

新校舎建設地のメリット・デメリットの意見収集をし、さらなる検討を進め、7月の懇談会にて柴又地域における学校改築の方向性をとりまとめます。

懇談会資料は以下の区の公式ホームページでご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) > [柴又地域（柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校）の学校改築について](#)



次回の学校改築懇談会（予定）

令和6年7月16日（火）午後7時 柴又学び交流館 3階レクリエーションホール
懇談会の傍聴を希望される方は、QRコードからお申し込みください。



柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138（直通）

柴又地域学校改築懇談会ニュース

※ 本ニュースでの「柴又地域の学校」は、柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校を指します。

令和6年8月発行 第8号
発行：柴又地域学校改築懇談会事務局

柴又地域の学校改築に関する意見のまとめ方

以下のA案からC案のいずれかの案を改築懇談会の意見のまとめとします。

① 従来の改築方針

(A案) 柴又小学校単独改築

② 柴又地域一連の学校改築

(B案) 柴又小学校敷地に統合小学校

(C案) 東柴又小学校敷地に統合小学校

※ (B案) 及び (C案) の場合、統合小学校建設後、桜道中学校を改築する。

A～C案の詳細は、下記の区公式ホームページから確認できます。

令和6年7月16日(火)開催の第8回改築懇談会では、3つの改築案(柴又小単独改築・柴又小敷地に統合小学校・東柴又小敷地に統合小学校)をもとに、委員各々が考える各小学校敷地に新校舎を建設した場合のメリット・デメリットについて意見を出し合い検討しました。

一部ではありますがその意見を紹介します。

	メリット	デメリット
柴又小学校敷地に新校舎を建設した場合	<ul style="list-style-type: none">柴又地域のほぼ中心にある昔ながらの伝統が引き継がれる	<ul style="list-style-type: none">東柴又小学校に比べ敷地が狭い周辺道路の車通りが多い
東柴又小学校敷地に新校舎を建設した場合	<ul style="list-style-type: none">避難場所である柴又野球場・江戸川緑地一帯に近い校庭が広く、遊具などもたくさん置くことができる柴又小学校が仮校舎になるため、桜道中学校の改築で活用する際に移転がしやすい	<ul style="list-style-type: none">柴又地域の東端にあり、登校に時間がかかる児童が増える北総線の騒音が気になる
自由意見	<ul style="list-style-type: none">新潟県浦川原小学校との交流継続についても話し合いを進めたい児童の交通事故は発生していないが、小学校統合の際に柴又街道を横断する児童が現状より増えることは明らかであり、各所の横断位置における安全確保には配慮が必要である	

改築懇談会の意見

この他にも様々な観点から多くの意見が出され、学校改築に関する検討を深めた結果、

(C案) 東柴又小学校敷地に統合小学校を建設する案

が意見多数となりました。次回、区への報告内容の検討を行います。

懇談会資料は以下の区公式ホームページでご覧いただけます。

[トップページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [学校改築事業](#) > 柴又地域(柴又小学校、東柴又小学校、桜道中学校)の学校改築について



次回の改築懇談会(予定)

令和6年8月22日(木)午後7時 柴又学び交流館3階レクリエーションホール

懇談会の傍聴を希望される方は、QRコードからお申し込みください。

柴又地域における学校改築に関するお問い合わせ

【事務局】葛飾区施設部 施設管理課 電話：03-5654-8138(直通)



柴又地域学校改築懇談会
～第3回～

令和6年2月28日（水）

葛飾区

葛飾区教育委員会

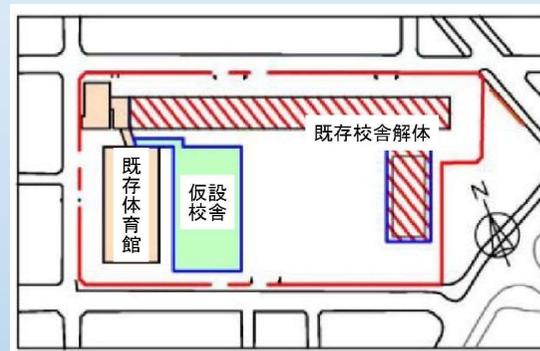
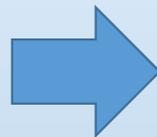
(2) 教育環境について

① 工事中の教育環境

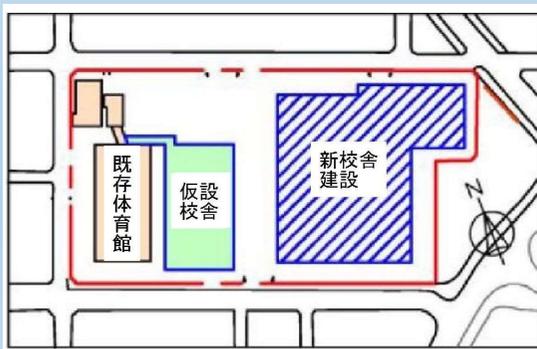
改築工事工程（案）：柴又小学校単独改築の場合



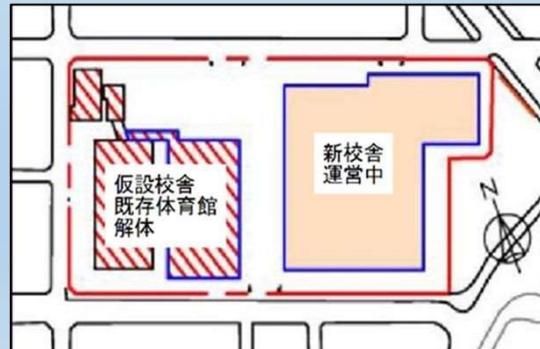
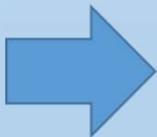
① 仮設校舎建設
(半年程度)



② 既存校舎解体
(半年程度)



③ 新校舎建設
(1年半程度)



④ 仮設校舎・
体育館解体、外構整備
(1年半程度)

⇒ **騒音・振動**の影響が大きく、**屋外運動**空間がほとんどない。

(2) 教育環境について

① 工事中の教育環境

【参考】 単独改築と一連改築の工期比較

柴又小学校	東柴又小学校	桜道中学校	一連改築
4 8 か月 (4 年)	5 1 か月 (4 年 3 か月)	7 8 か月 (6 年 6 か月)	7 2 か月 (6 年)

※上記の工事期間の他に、設計などで約3~4年かかります。

⇒一連の改築とすることで工期短縮のみならず、
工事と学校運営を同一敷地で行うことがないため、

- ① 騒音・振動の問題を避けることができ、
- ② 屋外運動スペースも確保できる。

(2) 教育環境について

① 工事中の教育環境

【参考】 他改築校の工事計画

< 道上小学校 >

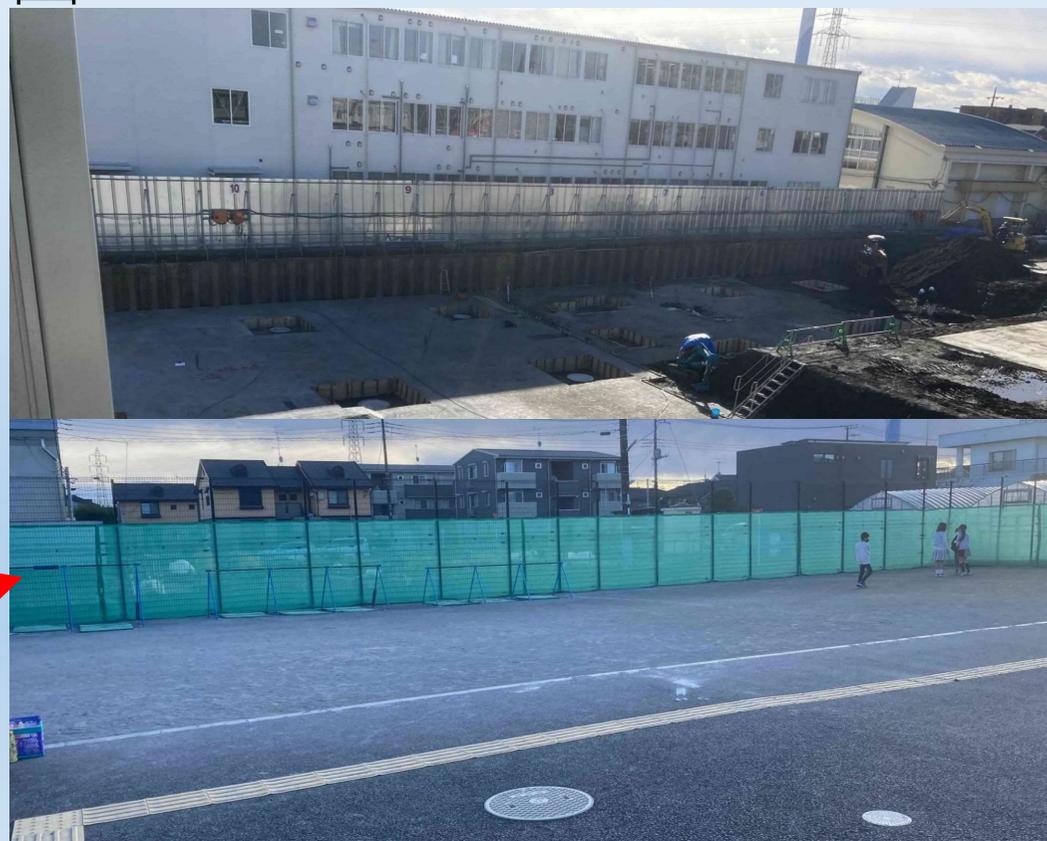


(2) 教育環境について

① 工事中の教育環境

【参考】 他改築校の工事計画

<水元小学校>



(2) 教育環境について

① 工事中の教育環境

施工上の騒音・振動対策



- 油圧破碎機を使用して振動・騒音低減
- 散水機にて粉じんの飛散防止
- 防音パネルを設置し、騒音低減



大割圧砕機



小割圧砕機



(2) 教育環境について

③ 柴又街道横断時の安全確保

通学区域・通学路

- ・別紙2「柴又・東柴又小学校の通学区域と通学路」参照

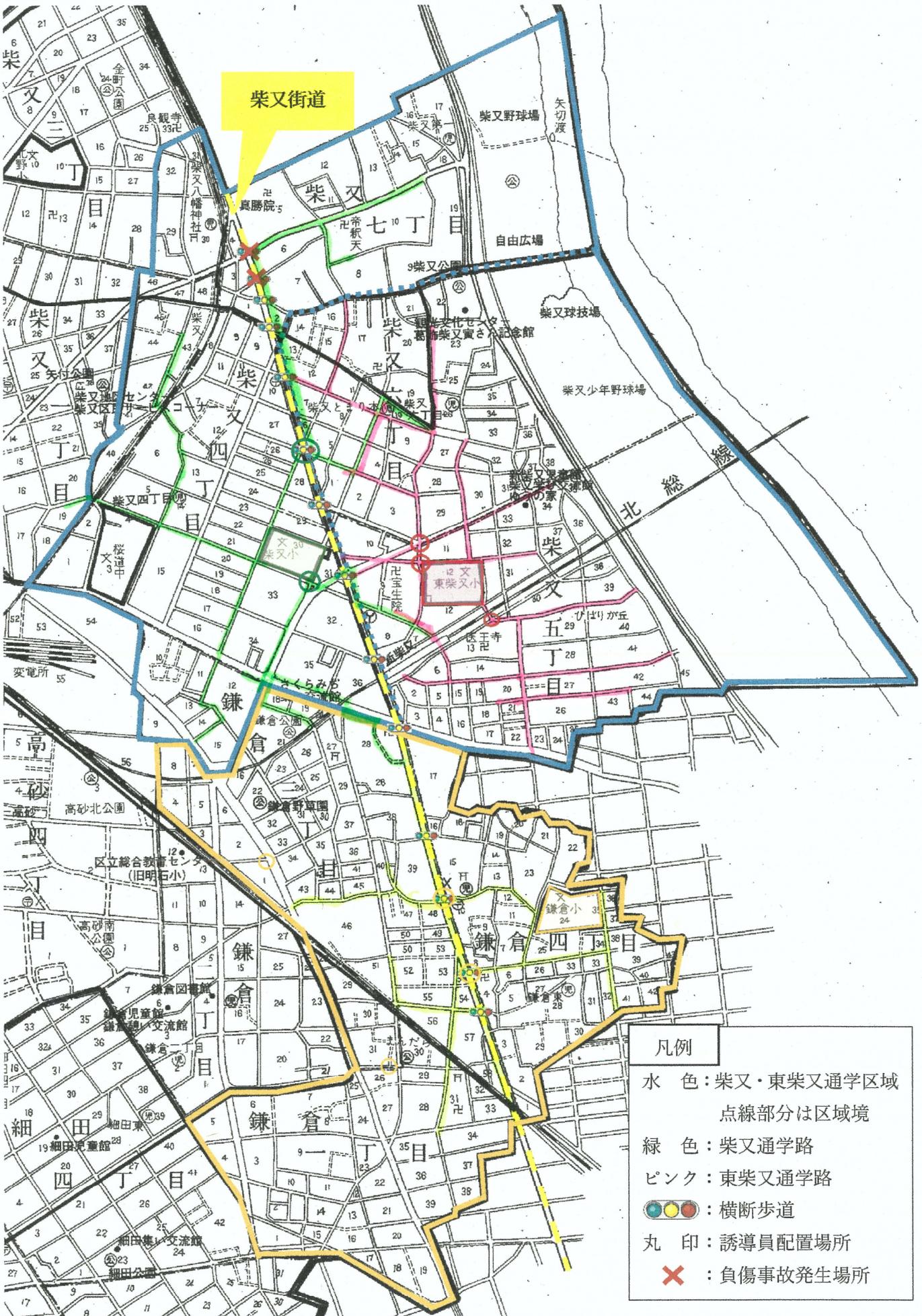
現状

- ・柴又街道を横断する際に利用している横断歩道は2か所

課題

- ・統合した場合、柴又街道を横断する児童が増える
→横断歩道の混雑、児童の安全確保

別紙2 柴又小学校・東柴又小学校の通学区域と通学路



(3) 柴又地域一連の学校改築案のメリット・課題

◆柴又地域一連の学校改築案における教育環境メリット

騒音・振動の削減

- 工事エリアと学校運営エリアの分離

屋外運動空間の確保

- 外体育と外遊び時の外部施設への移動をなくす

新しい教育環境の整備

- 柴又地域に等しく新しい教育環境を効率的に整備

(3) 柴又地域一連の学校改築案のメリット・課題

◆柴又地域一連の学校改築案における教育環境の課題

通学区域・通学路

- 柴又街道を横断する児童の増加→安全確保が課題

児童の生活環境

- 統合校運営開始時に両校の児童が馴染めるか
- 在籍児童をよく知る教職員の配置と引継ぎ

柴又地域学校改築懇談会
～第4回～

令和6年3月28日（木）

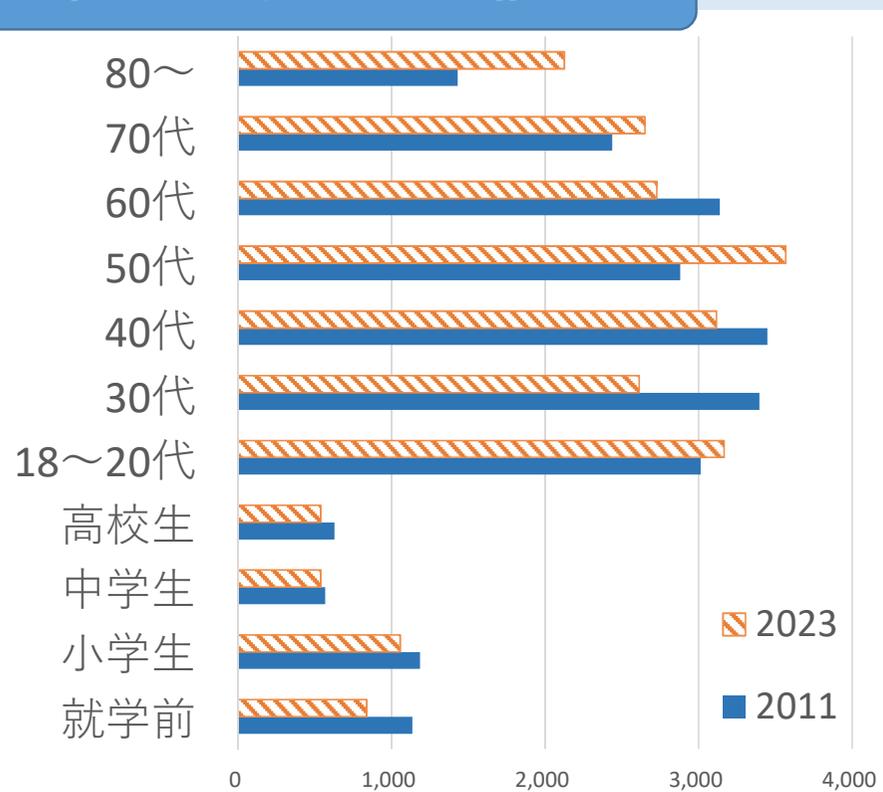
葛飾区

葛飾区教育委員会

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

柴又地域の人口構成

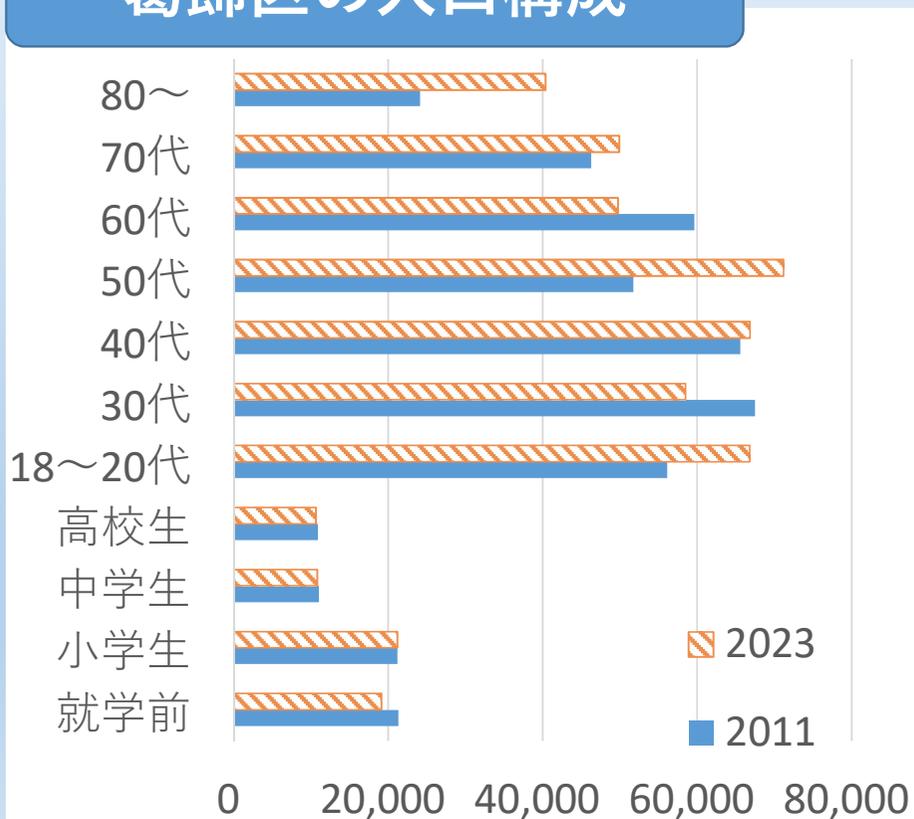


	2011	2023	増減
就学前	1,135	838	-297
小学生	1,186	1,057	-129
中学生	567	538	-29
高校生	628	539	-89
18～20代	3,013	3,167	154
30代	3,395	2,613	-782
40代	3,448	3,117	-331
50代	2,879	3,568	689
60代	3,137	2,728	-409
70代	2,437	2,651	214
80～	1,430	2,126	696
全体	23,255	22,942	-313

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

葛飾区の人口構成

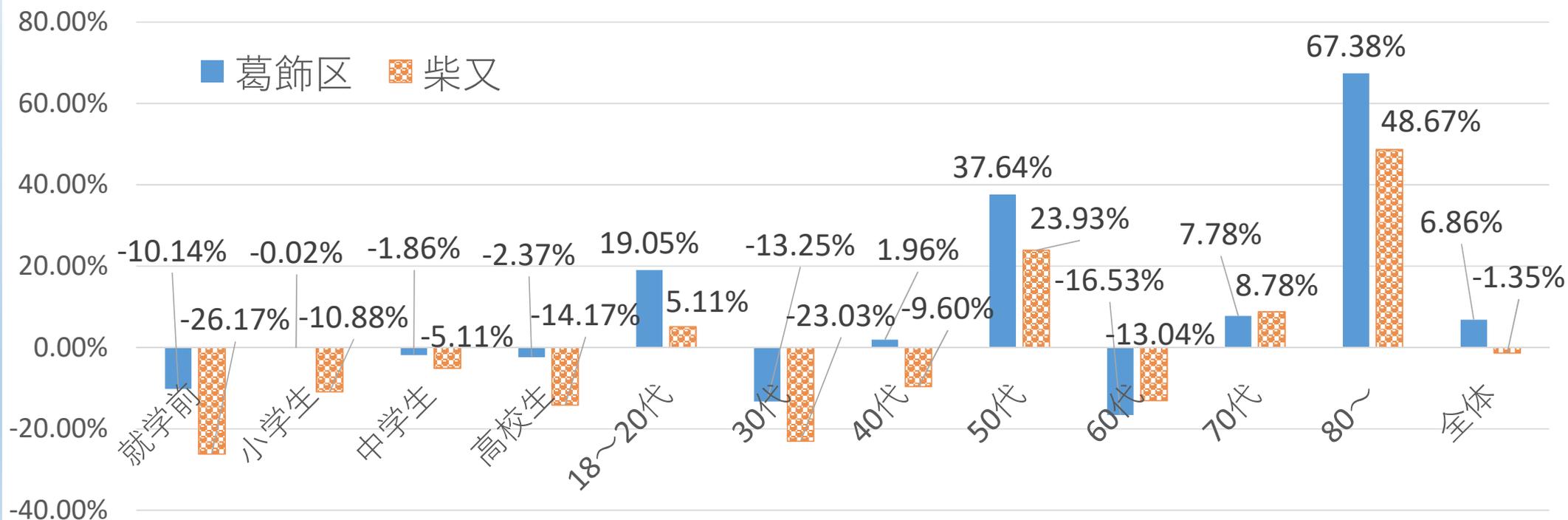


	2011	2023	増減
就学前	21,323	19,161	-2,162
小学生	21,208	21,203	-5
中学生	11,032	10,827	-205
高校生	10,939	10,680	-259
18～20代	56,116	66,805	10,689
30代	67,466	58,529	-8,937
40代	65,568	66,851	1,283
50代	51,721	71,191	19,470
60代	59,621	49,764	-9,857
70代	46,294	49,897	3,603
80～	24,123	40,377	16,254
全体	435,411	465,285	29,874

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

人口増減率



(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆通学区域別住民登録者数推移（小学校）

単位：人

学校	平成30年4月							令和5年4月							増減							増減割合
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	
柴又小	56	57	51	40	56	50	310	55	53	47	50	49	49	303	▲1	▲4	▲4	10	▲7	▲1	▲7	-2%
東柴又小	46	53	48	62	46	51	306	35	38	39	37	38	42	229	▲11	▲15	▲9	▲25	▲8	▲9	▲77	-25%

⇒児童数は減少見込みで、
区が考える適正学級数（12学級から18学級）を将来的に
下回る可能性がある。

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の未就学児の小学校入学までの転出入

柴又小学校

各年度の未就学児数（満年齢）

単位：人

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1歳	60	58	52	56	56	55
2歳	52	57	53	52	48	53
3歳	41	51	52	51	55	47
4歳	54	40	50	48	51	50
5歳	51	56	39	51	50	49
6歳	60	50	55	39	53	49
合計	318	312	301	297	313	303

➡ ほぼ横ばいか、減少（転出）傾向がある

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の未就学児の小学校入学までの転出入

東柴又小学校

各年度の未就学児数（満年齢）

単位：人

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1歳	53	46	45	47	39	35
2歳	51	53	43	42	46	38
3歳	60	48	52	41	40	39
4歳	48	62	45	47	42	37
5歳	52	48	57	44	45	38
6歳	47	51	44	54	44	42
合計	311	308	286	275	256	229

➡ ほぼ横ばいか、減少（転出）傾向がある

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

仮校舎児童数・学級数

< 令和8年度想定 >

単位：人（カッコ内は学級数）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
柴又	50 (2)	49 (2)	49 (2)	52 (2)	41 (2)	53 (2)	294 (12)
東柴又	37 (2)	38 (2)	42 (2)	47 (2)	53 (2)	47 (2)	264 (12)
統合校	87 (3)	87 (3)	91 (3)	99 (3)	94 (3)	100 (3)	558 (18)

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

仮校舎必要教室数

< 令和 8 年度想定 >

< 柴又小学校が仮校舎の場合 >

	普通 教室	特別 支援	合計
必要数	1 9	4	2 3
柴又現有	1 7	4	2 1
増築数	2	0	2

< 東柴又小学校が仮校舎の場合 >

	普通 教室	特別 支援	合計
必要数	1 9	4	2 3
東柴又現有	1 4	0	1 4
増築数	5	4	9

※普通教室の必要数には、少人数教室 1 室を含む

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

新校舎児童・学級数

< 令和 1 1 年度想定 >

単位：人（カッコ内は学級数）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
柴又	55 (2)	53 (2)	47 (2)	50 (2)	49 (2)	49 (2)	303 (12)
東柴又	35 (1)	38 (2)	39 (2)	37 (2)	38 (2)	42 (2)	229 (11)
統合校	90 (3)	91 (3)	86 (3)	87 (3)	87 (3)	91 (3)	532 (18)

柴又地域学校改築懇談会
～第5回～

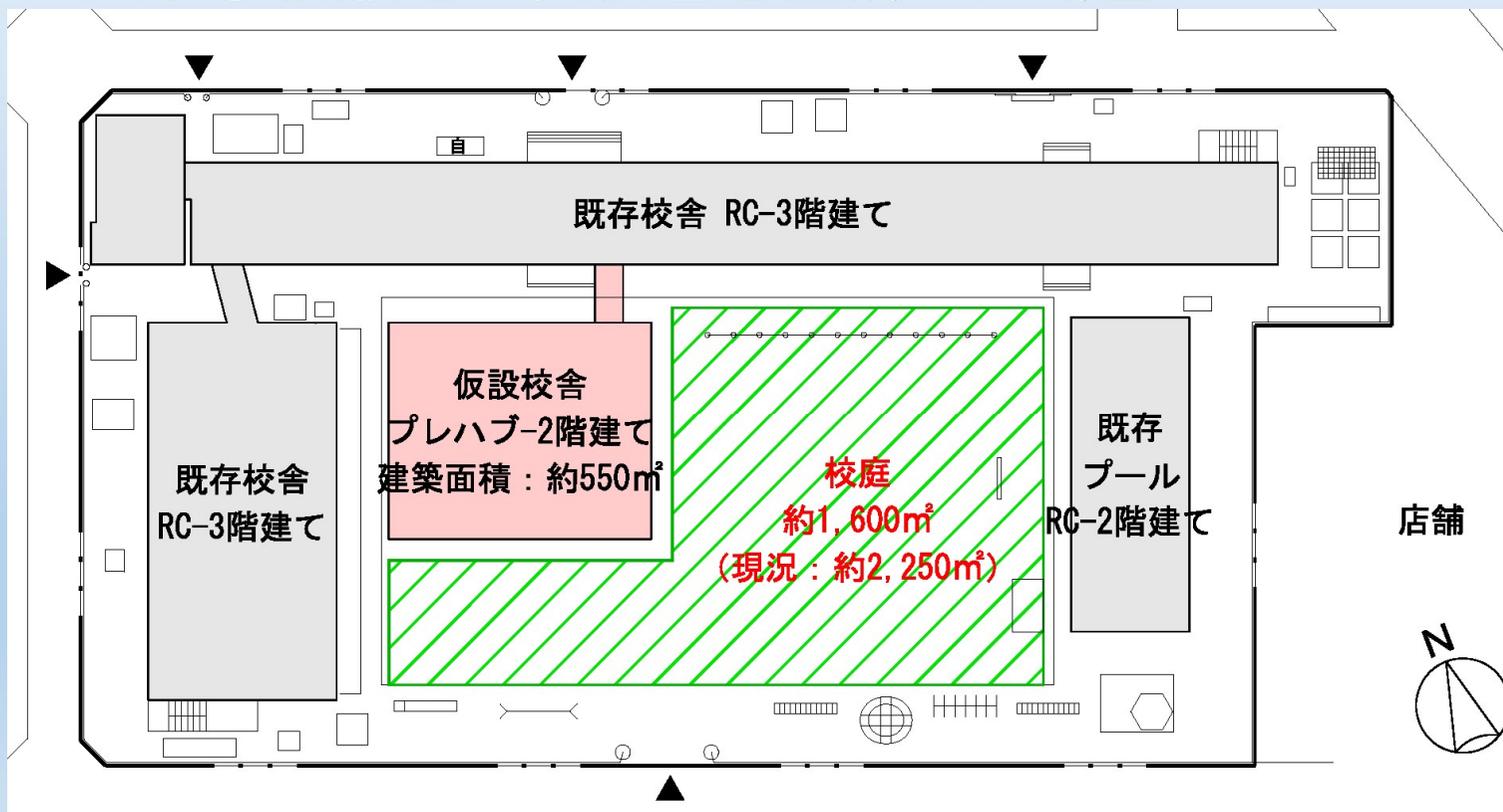
令和6年4月25日（木）

葛飾区

葛飾区教育委員会

(2) 地域の拠点となる学校づくり

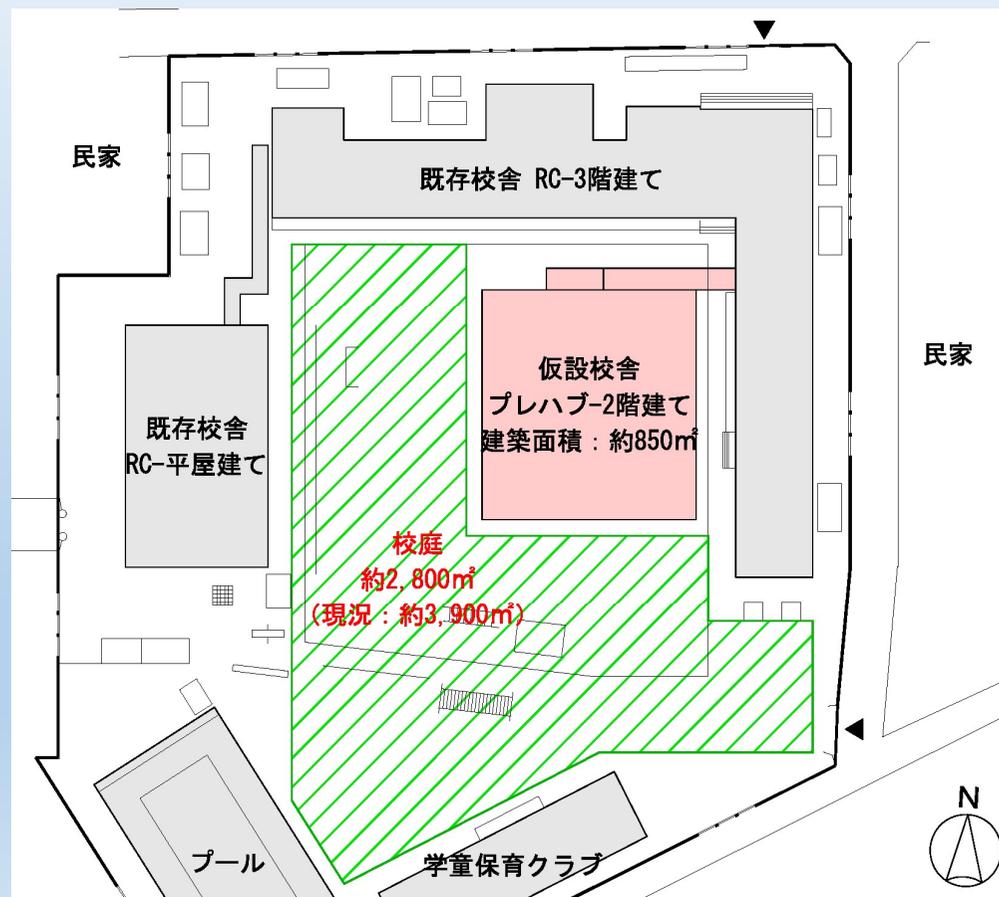
- ① 柴又・東柴又小学校の統合校舎の規模想定
〈柴又小学校敷地に仮校舎を整備した場合〉



(2) 地域の拠点となる学校づくり

① 柴又・東柴又小学校の統合校舎の規模想定

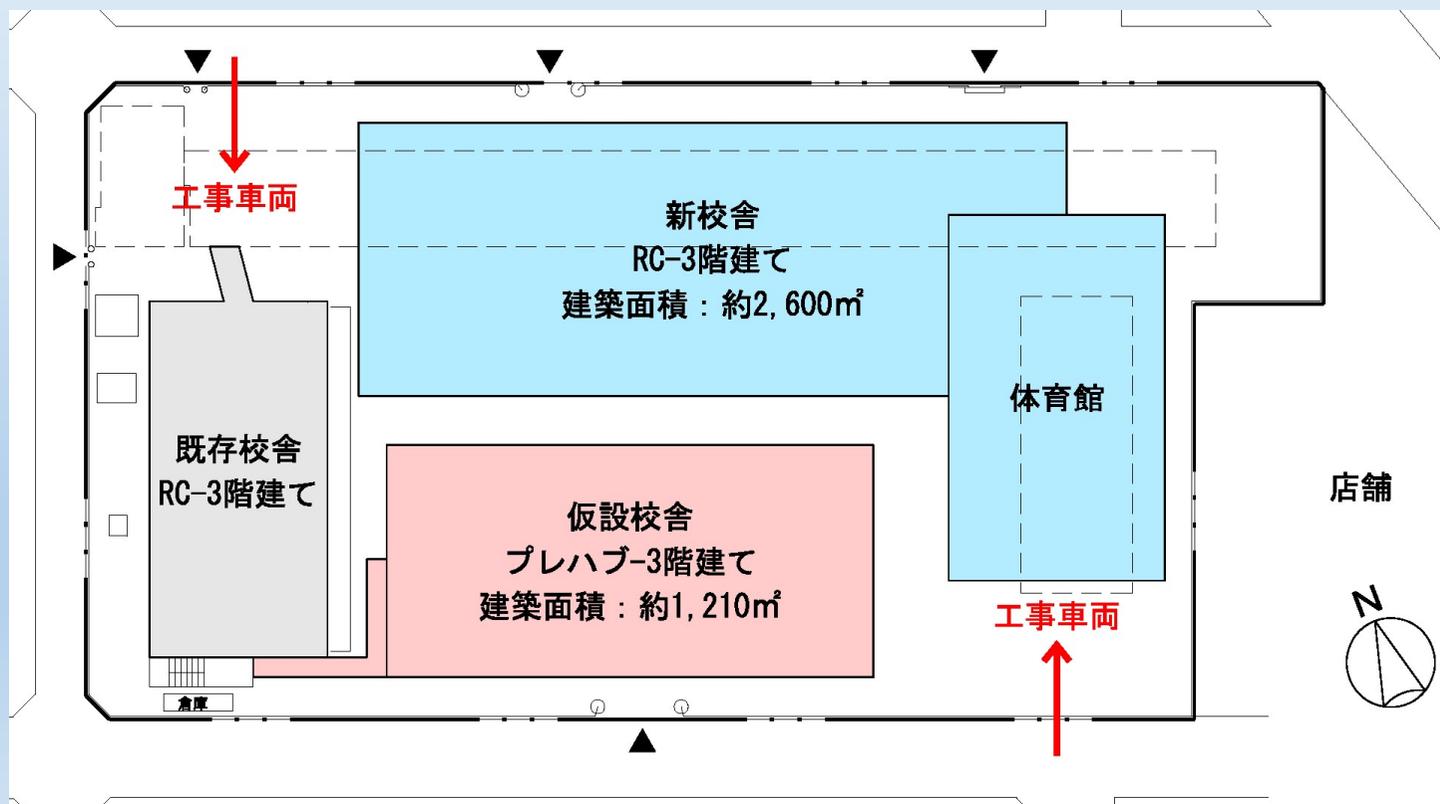
＜東柴又小学校敷地に
仮校舎を整備した場合＞



(2) 地域の拠点となる学校づくり

① 柴又・東柴又小学校の統合校舎の規模想定

<参考> 柴又小学校単独改築の想定

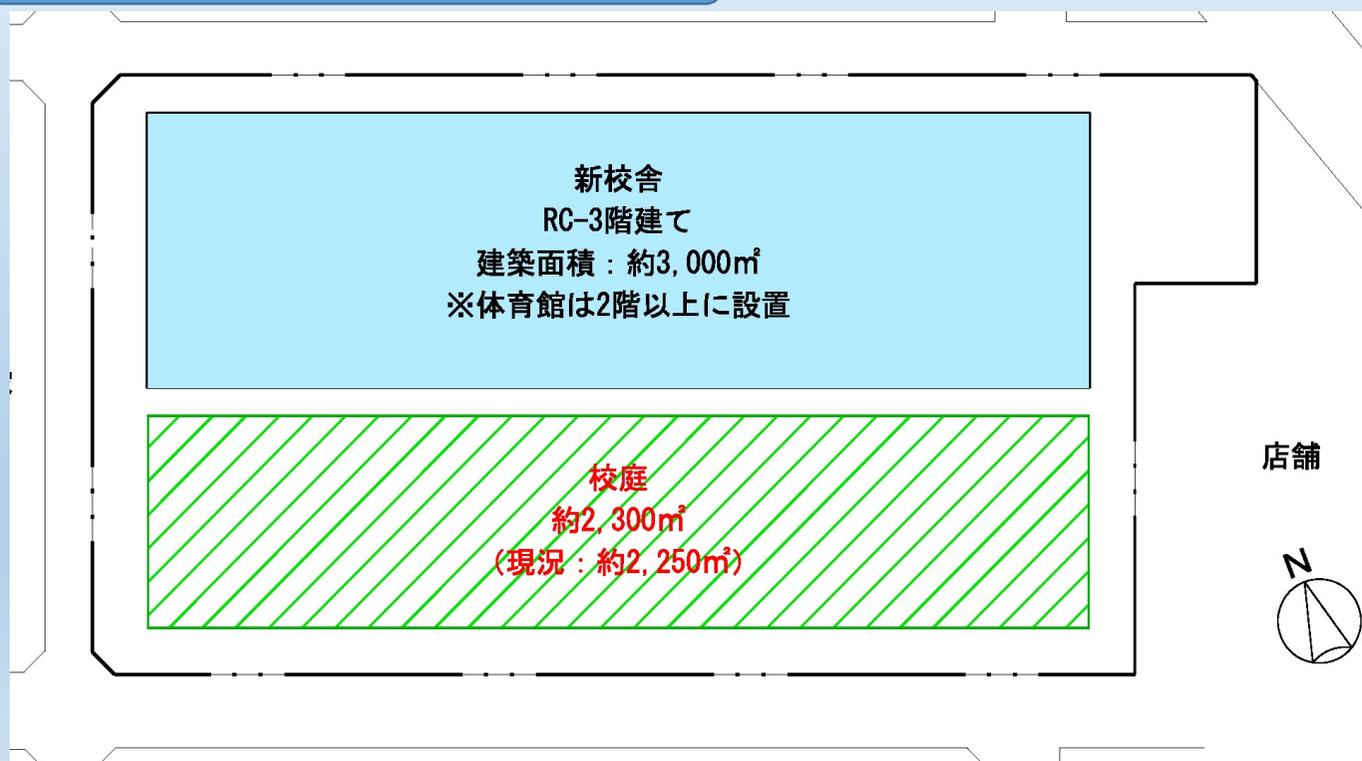


(2) 地域の拠点となる学校づくり

① 柴又・東柴又小学校の統合校舎の規模想定

新校舎の敷地イメージ

< 柴又小学校敷地の場合 >



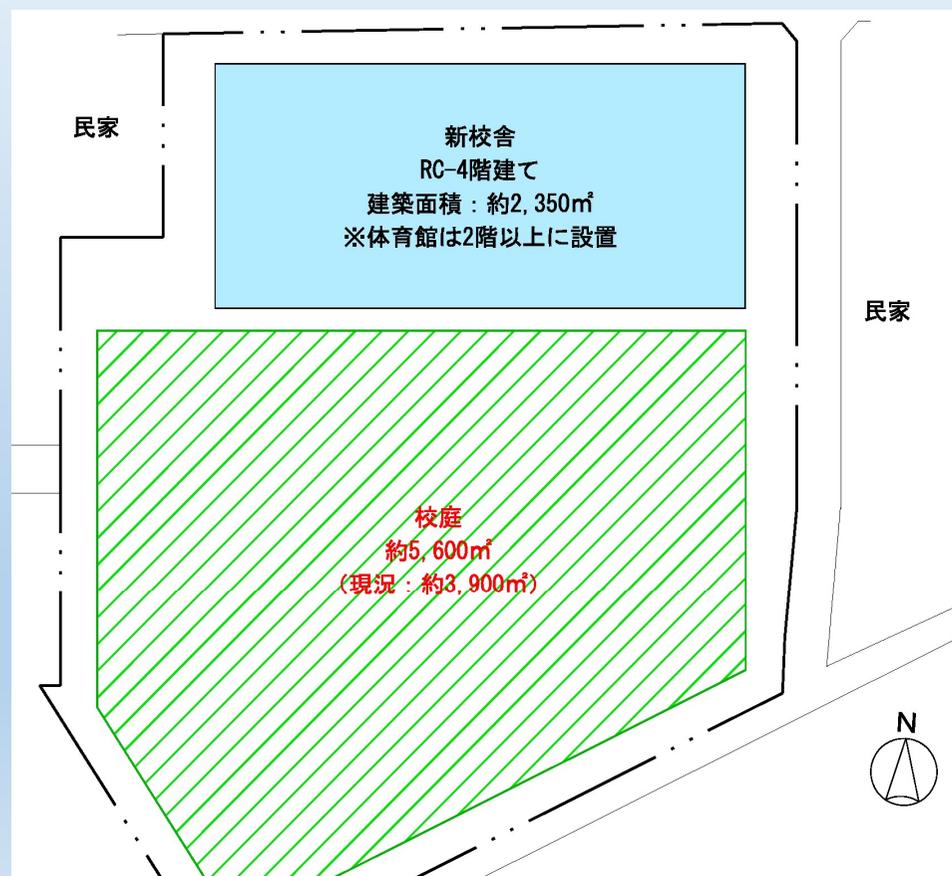
※配置案や計画によって、面積変動がございます。

(2) 地域の拠点となる学校づくり

① 柴又・東柴又小学校の統合校舎の規模想定

新校舎の敷地イメージ

<東柴又小学校敷地の場合>



※配置案や計画によって、
面積変動がございます。

(2) 地域の拠点となる学校づくり

② 防災機能

< 既存校舎 >

学校	避難対象室面積	避難者収容人数	機能等
柴又小学校	体育館：480m ² 教室：1,076m ²	体育館：291人 教室：652人 →合計：943人	・ バリアフリーなし ・ 体育館は3階
東柴又小学校	体育館：475m ² 教室：819m ²	体育館：289人 教室：496人 →合計：785人	・ バリアフリーなし ・ 体育館は1階
桜道中学校	体育館：623m ² 教室：900m ²	体育館：376人 教室：545人 →合計：921人	・ バリアフリーなし ・ 体育館は1階

(2) 地域の拠点となる学校づくり

② 防災機能

< 新校舎想定 >

学校	避難対象室面積 (概算)	避難者収容人数 (概算)	機能等
新統合小学校	体育館：700m ² 教室：1,332m ²	体育館：424人 教室：807人 →合計：1,231人	・体育館は2階以上 ・バリアフリー対応 ・インフラ機能向上
桜道中学校	体育館：700m ² 教室：1,036m ²	体育館：424人 教室：628人 →合計：1,052人	

※上記面積や人数は、学校の標準規模及び整備想定教室数からの想定値であり、今後検討する配置案や防災計画等によって、面積・収容人数は変動します。

(2) 地域の拠点となる学校づくり

③ 歴史・文化の継承

事例紹介

水元小学校：既存樹木の活用

新校舎建設に活用予定



(2) 地域の拠点となる学校づくり

③ 歴史・文化の継承

事例紹介

高砂小学校：郷土資料室



(2) 地域の拠点となる学校づくり

③ 歴史・文化の継承

事例紹介

北区明桜中学校：メモリアルホール



→統合した3校の校章・校歌などを残し、継承

(2) 地域の拠点となる学校づくり

③ 歴史の継承

柴又小学校の文化

< 地域 >

- ・ 盆踊りやかるた、ロードレース、お祭り、田植えなど
- ・ おやじの会によるイベントもあり

< 学校 >

- ・ 幼保小の連携
- ・ 浦川原小学校との交流

など

(2) 地域の拠点となる学校づくり

③ 歴史の継承

東柴又小学校の文化

< 地域 >

- ・ 地域祭りパレード
- ・ フロリズ花壇植栽

< 学校 >

- ・ ニコフェス
- ・ 健康教育の推進

など

(2) 地域の拠点となる学校づくり

③ 歴史の継承

桜道中学校の文化

< 地域 >

- ・ ボランティア活動
- ・ 3年生の面接練習

< 学校 >

- ・ P T A、おやじの会（桜の会）、八桜会
- ・ 行動目標「何かで人より、何かで人に」

など

柴又地域学校改築案比較表

		(A案) 柴又小学校単独改築	柴又地域一連の学校改築	
			(B案) 柴又小学校敷地に新校舎	(C案) 東柴又小学校敷地に新校舎
敷地状況	敷地面積	7,646㎡	7,646㎡	10,215㎡
	校庭面積	約2,500㎡	約2,300㎡	約5,600㎡
	接道状況	北:5.45m 南:8.18m 東:接道なし 西:5.45m	北:5.45m 南:8.18m 東:接道なし 西:5.45m	北:約6m 南:約4m(緑道含むと約12m) 東:6m 西:接道なし
	隣接状況	東側に飲食店あり	東側に飲食店あり	西側に住宅あり
建築物条件	想定建築面積(延床面積)	約2,600㎡(約7,000㎡)	約3,000㎡(約8,000㎡)	約2,350㎡(約8,000㎡)
	建物規模	3階建て	3階建て	4階建て
	留意事項	建築物の高さの最高限度は12m	建築物の高さの最高限度は12m	柴又地域景観地区
通学路	最大直線距離	約940m (参考) 東柴又 約620m	約940m	約1,000m
	平均通学距離	約370m (参考) 東柴又 約250m	約390m	約440m
	柴又街道を渡る児童数 (令和9年度想定)	約60人 (参考) 東柴又 0人	約300人	約240人
教育環境等	学級数	12学級 ※東柴又小で将来的に単学級が発生する恐れ	18学級	18学級
	学童保育クラブ設置状況	①改築に合わせて校内に整備予定 ②学校外学童保育クラブ 学校からの距離 A:380m B:440m	①改築に合わせて校内に整備予定 ②学校外学童保育クラブ 学校からの距離 A:380m B:440m	①改築に合わせて校内に整備予定 ②学校外学童保育クラブ(柴又街道を渡らずに行ける) 学校からの距離 A:400m B:200m
	工事の影響	①仮設校舎設置により、校庭での体育授業や外遊び等が制限される ②工事車両の動線を考慮する必要がある ③全工事期間で騒音や振動の影響あり	仮設校舎建設期間中のみ騒音や振動の影響あり	仮設校舎建設期間中のみ騒音や振動の影響あり
5	改築スケジュール(現時点案)	①柴又小学校 4年(令和9年度～令和12年度) ②東柴又小学校 4年3か月(時期未定) ③桜道中学校 6年6か月(時期未定)	①統合小学校 3年(令和9年～令和12年度) ②桜道中学校 3年(令和12年度～令和15年度)	①統合小学校 3年(令和9年～令和12年度) ②桜道中学校 3年(令和12年度～令和15年度)
6	江戸川洪水最大想定深 (計画規模)	0.5m以上3m未満	0.5m以上3m未満	0.5m以上3m未満
	避難所機能	①避難所は現行とおり3か所 ②時期は未定だが、将来的に3校の学校改築を進めることにより、避難所(体育館)は2階以上に設置することが可能	①避難所は一連の改築事業が終了する時点で2か所 (東柴又小学校跡地活用は別途検討) ②東柴又小学校(体育館1階)を仮設校舎として活用しながら、柴又小学校(体育館3階)桜道中学校(体育館1階)の改築を順次進めるため、早期に避難所(体育館)を2階以上に設置することが可能	①避難所は一連の改築事業が終了する時点で2か所 (柴又小学校跡地活用は別途検討) ②柴又小学校(体育館3階)を仮設校舎として活用しながら、東柴又小学校(体育館1階)桜道中学校(体育館1階)の改築を順次進めるため、早期に避難所(体育館)を2階以上に設置することが可能